

「主の恵みを忘れず感謝する」 詩篇 103：1－5

2014年に与えられた主の恵みを数え感謝する。「主の良くしてくださったことを、何一つ忘れるな」詩篇103：2。

I 個人的な面の感謝。「主の祈り」への主の答えとしての恵み

1. 「私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください」マタイ6：11。神は、この祈りに答え、この1年間、毎日、必要な糧を与えて下さった恵みを感謝します。これは当たり前的事ではない。私達が、朝、昼、夜の食物が与えられているのは、当然のことではなく、神の恵み。私たちの命が、今年も守られたのも、当然ではない。人は自分の命を造ることも、自分の寿命を決める事も出来ない。すべては、神のご支配にあり、神の守りのおかげで今の命がある。「私たちは何一つこの世に持って来なかったし、また何一つ持つて出ることもできません。衣食があれば、それで満足すべきです」Iテモテ6：7，8。住む家も与えられている事、感謝します。

※この1年間の霊的な糧を感謝します。教会に祈り支えられた共同の業である礼拝メッセージの恵み、養い。日々の聖書、マナ、みことばの光、デェイリーブレット等を通しての霊的な糧。

「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる」マタイ4：4

2. 「私たちの負いめ（神への罪、霊的な負債、借金）をお赦しください。私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました」マタイ6：12。この1年間、どんなに多くの負い目、罪を神に赦していただいたことだろう。数えきれない罪への赦しの恵み！「主は、あなたのすべての咎（罪）を赦し」詩篇103：3。私達のすべての罪の刑罰を受けられた主の十字架の恵みがなければ、私達が自分の罪を告白しても赦しはない。しかし、私達の罪という負い目、負債は、主の十字架の尊い血の代価で、完全な償い、負債への支払いが終わっているので、私達が正直に自分の罪を認め、神に告白するなら、神は心から赦して下さい！何という恵み！私達は、「ただ神の憐みの負債者」。成長し続けるクリスチャンとは、自分が神に赦されている事実には驚き続け感謝する人。「私たちが滅びうせなかったのは、主の恵みによる。主のあわれみは尽きないからだ」哀歌3：22。

神に赦されるという事は、神と和解し、神との親しい交わりが回復するという最高の恵み。神の赦しの恵みを受け続ける時、私達も、他の人を赦す者に変えられ続ける。神に愛され赦され、神に愛され赦された自分を、自分でも愛し赦す。そして神から受ける愛で、他の人を愛し赦していく。

3. 「私達を試みに会わせないで、悪からお救いください」マタイ6：13。この1年間、神は、私達を悪から守られた。そのおかげで、今日の私達の存在がある。心から感謝します。この祈りへの神の答え、神の守りがなければ、私達は、もつともつと悪の誘惑に負け、墮落している。『主の御名を呼ぶ者は、だれでも不義を離れよ。』…だれでも自分自身をきよめて、これらのことを離れるなら、その人は尊いことに使われる器となります。すなわち、聖められたもの、主人（主ご自身）にとって有益なもの、あらゆる良いわざに間に合うものとなるのです。…きよい心で主を呼び求める人たちとともに（共に祈り合う事は大きな支え）、義と信仰と愛と平和を追い求めなさい」IIテモテ2：19－22。「わたしは、愛する者をしかつたり、懲らしめたりする。だから、熱心になって、悔い改め（自分の罪を告白し神に立ち返る）なさい」黙示録3：19。神は、私達を心から愛しておられるので、私達を主の御姿に成長させる為に訓練される。「霊の父は、私たちの益のために、私達をご自身の聖さにあずからせようとして、懲らしめ（痛い事を通して罪に気付かせる）るのです。すべての

懲らしめは、そのときは喜ばしいものではなく、かえって悲しく思われるものですが、後になると、これによって訓練された人々に平安な義の実を結ばせます」ヘブル12：01, 11。「苦しみに会ったことは、私にとってしあわせでした。私はそれであなたのおきてを学びました」詩篇119：71

II 神が教会に与えられた恵みへの感謝

1. 三位一体の神の交わりに迎えられ、神の家族としての主の教会の交わりに加えられる洗礼の恵み。当人も教会も神の暖かい恵みに包まれる。
3月23日：千葉光弘さんの洗礼。5月18日：岩田愛凜さんの洗礼。
12月21日：鈴木大介さんの洗礼。
2. 神が教会に加えられた方々との交わりの恵み。新しく礼拝に集う方々を神は与えておられる恵み。偶然な事は何もない。神がすべてを支配し、私たち一人一人に教会に行きたいという志を与えて下さる。
「万軍の主はこう仰せられる。『再び、国々の民と多くの町々の住民がやって来る。…さあ、行って、主の恵みを請い、万軍の主を尋ね求めよう。私も行こう』と言う。…『私たちもあなたがたといっしょに行きたい。神があなたがたとともにおられる、と聞いたからだ』と言う」ゼカリヤ8：20-23
3. 教会のメンバーが、それぞれに相応しい奉仕を、自分の分に応じて、させていただいている恵み。共に主の教会を愛し建て上げる業に参加できる恵み。主の恵みに感謝をし、謙遜に仕える心で。「だれでも、思うべき限度を越えて思い上がってはいけません」
ローマ12：3。「キリストによって、からだ全体は、一つ一つの部分はその力量にふさわしく働く力により、また、備えられたあらゆる結び目によって、しっかりと組み合わされ、結び合され、成長して、愛のうちに建てられるのです」エペソ4：16
4. 会堂、土地、駐車場が与えられている事は、当たり前ではなく、大きな神の恵み。落ち着いて礼拝できる場所を探し祈り求めている教会、駐車場がなくて困っている教会がある。私達の主の教会に会堂、土地、駐車場が確保できている事を心から感謝したい。
5. 14年間、会堂返済が守られている事、この1年間の必要が満たされている事を、与え主なる神に心から感謝したい。「私の神は、キリスト・イエスにあるご自身の栄光の富をもって、あなたがたの必要をすべて満たしてください」ピリピ4：19

2014年の主の恵みを覚え、思い出し、振り返り、一つ一つ数え、心から主に感謝します。また、祈り支えて下さった方々に感謝します。主が与えて下さる新しい年も、主に一步一步、抛り頼み歩んで参ります。皆さん、お一人お一人に主の豊かな祝福がありますように！